

福岡県の高校生：ハワイ大学で「ワンヘルス講義」を受講しました !!

令和5年12月4日（月）、福岡県の15人の高校生がハワイ大学を訪問し、ハワイの人間、動物、植物、環境の健康の相互関係を探る「ワンヘルス」に関する講義を受講しました。

福岡県（教育庁）では、将来世界で活躍する人材を育成することを目的に、令和5年度から新たな事業として「『福岡から世界へ』人材育成プロジェクト」（短期留学研修プログラム）が実施されています。

このプログラムには、県内の高校生296名から応募があり、55名が研修生として選抜されました。

このうち15名がハワイコース（海外就業体験コース）に参加し、12月2日（土）から9日（土）にかけて、ハワイの自然・人・動物の共生・調和の考え方について学び、観光ビジネスの就業などを体験しました。



ハワイ大学での講義の様子

ハワイ大学では、福岡県の高校生ということで特別に講義を引き受けていただき、人獣共通感染症や薬剤耐性菌の課題に対してワンヘルスの視点で取り組むことの大切さや、デング熱やトキソプラズマ症などの感染症に関する研究について講義を受講しました。

「ワンヘルスの推進のために大切にすべきこと」「大学院生が行っている環境活動」「ワンヘルスとオーバーツーリズムとの関係」などについて質疑応答が行われ、講義の後は、大学院生とのディスカッションや、キャンパスツアーが行われました。



大学院生とのディスカッションの様子



キャンパスツアーの様子

参加した生徒からは、「人の病気だけでなく、動物、自然と一緒に考え、治療に取り組んでいくことが大切であるとわかった」「全ての生物が共存していくために何ができるかを考えることが大切である」「ワンヘルスの考え方をどんどん周囲の人に伝えていきたい」といった感想が寄せられました。

※ 高校生の訪問については、ハワイ大学ホームページにも掲載されています。

<https://manoa.hawaii.edu/tropicalmedicine/?p=7498>

2023年12月15日

福岡ワンヘルス協議会・事務局